

不定詞の構文

1. 疑問詞＋不定詞

この形はよくでるので、しっかり覚えて下さい。主な形は、

1. what to ～ = 何を～べきか
2. where to ～ = どこで～か
3. when to ～ = いつ～か
4. how to ～ = ～の仕方

この4つです。これらの不定詞が動詞の目的語になります。

例文：

I don't know what to say.

(私は何を言うべきかわかりません。)

He didn't remember where to get off a train.

(彼はどこで電車を降りるか覚えていませんでした。)

She taught me when to start the party.

(彼女はいつパーティーが始まるのか教えてくれました。)

They learned how to use this computer.

(彼らはこのコンピューターの使い方を学びました。)

○ It+be 動詞+形容詞+for 人+不定詞

上のパターンと似ています。上の例文を少し変えてやってみます。

例文：

To solve this equation is easy for him.
(彼にとってこの方程式を解くことは簡単です。)

「～にとって」を表す場合は、「～ for 」を使い、形容詞の直後に置きます。

作り方は、for があろうがなかろうが同じです。主語を It にして、不定詞の主語の部分文末に持っていきます。

To solve this equation is easy for him.

↓

→→→→→→→

↓

It is easy for him to solve this equation.

非常によく出題されるパターンなので、必ず書き換えができるようにして下さい。

○ 主語+find it+形容詞+不定詞 (～がわかる)

形式主語 it を使った、この形も覚えて下さい。find には「見つける」の意味以外に、「わかる」の意味があります。例えば、

例文：

You will find the book interesting.

S V O C

(君はその本がおもしろいとわかるでしょう。)

この文は、O=C になっているので、S+V+O+C の第5文型です。この文を形式主語 it を使った文にしてみます。

このパターンで難しいのは、不定詞の動詞を補うことです。それぞれの文に合った動詞を補わなければなりません。この例文では、the book とあるので、read を補います。

You will find the book interesting.

→ You will find it interesting to read the book.

このようにすることができます。

3. It is + 形容詞 + of + 人 + 不定詞

この形は、人の性質を表現する時につかうものです。例えばここで使う形容詞は、

- kind (親切な)
- clever (賢い)
- rude (失礼な)

など、どのような人なのかを表す語です。次の文を見て下さい。

例文：

You are very kind to help me.

(私を手伝ってくれてどうもありがとう。)

この文を形式主語 **It** で表す場合は、「**It is + 形容詞 + of + 人 + 不定詞**」の形に当てはめて、

→ **It is very kind of you to help me.**

これで完成です。ちなみにこの形の問題では、カッコの穴埋めで **of** を問うものが多いです。では、他の例文を挙げておきますので参考にして下さい。

例文：

He was very clever to get 100.

→ **It was very clever of him to get 100.**

(100点をとるなんて彼はとても賢かった。)

You are rude not to say good-bye to your friends.

→ **It is rude of you not to say good-bye to your friends.**

(友達に挨拶をしないなんて君は失礼だ。)

4. be 動詞＋不定詞

be 動詞＋不定詞で、「予定・義務・可能」を表すことができます。

○ 予定

例文：

We are to hold a meeting.
(私たちは会議をする予定です。)

○ 義務

例文：

You are to come by next Monday.
(次の月曜日までに来ることになっています。)

○

可能

可能を表す場合は、受動態を伴って否定文での使用が多いです。

例文：

This problem was not to be solved.
(この問題は解かれませんでした。)

この「be 動詞＋不定詞」の形はすごく便利なので必ず暗記して下さい。

5. S+V+O (人) +不定詞

第3文型の文でOに不定詞が使われますが、

例文：

I want to buy this bike.

S V O

(私はこの自転車が欲しいです。)

このOが人になり、その後に不定詞がくるパターンを紹介します。例えば次の文を見て下さい。

例文：

I want you to buy this bike.

S V O (人) 不定詞

(私はあなたにこの自転車を買って欲しい。)

ここでは **want** を使いましたが、**want** 以外で使われる動詞はほとんど決まっています。

○ ask (頼む)

例文：

I asked him to come with me.

(私は彼と一緒に来てくれるように頼みました。)

○ tell (言う)

tell は軽い命令の意味になります。

例文：

She told me not to read her diary.

(彼女は私に日記を見るなど言いました。)

○ allow (許す)

例文：

My father allowed me to go shopping.

(お父さんは私が買い物に行くのを許してくれました。)

○ advise (助言する)

例文：

The coach advised them to do their best.

(コーチは彼らに全力を尽くすように助言しました。)

○ force (強いる)

例文：

A weather warning forced us not to go out.

(警報で外出できませんでした。)

6. too ~ to ... と ~ enough to ...

○ too ~ to ...

意味： 「とても～なので…できない」

例文：

You are too shy to make a speech.

(あなたはとても恥ずかしがりなのでスピーチができません。)

この構文では、書き換え問題がよく出題されます。

[so ~ that + 主語 + cannot + ...]

「too ~ to ...」の文は「so ~ that + 主語 + cannot + ...」の文に書き換えることができます。上の例文を書き換えると、

You are too shy to make a speech.

= You are so shy that you cannot make a speech.

このようになります。もう1つ例文を挙げます。

例文：

This question is too difficult for me to solve.

= This question is so difficult that I cannot solve it.

(この問題は難しすぎて私には解けません。)

書き換えた文の最後に it がついていることに注目です。that 以下で文が構成されますので、solve の目的語 it (=this question) が必要です。

○ ～ enough to …

意味： 「…するのに十分～だ」

例文：

You are old enough to get your driver's license.

(あなたは運転免許をとるのに十分な歳です。)

この文も上の「too ～ to …」と同様に書き換えがあります。ただし、**enough** の文は **can** を使います。

[so ～ that+主語+can+…]

「～ enough to …」の文は「so ～ that+主語+can+…」の文に書き換えることができます。上の例文を書き換えると、

You are old enough to get your driver's license.

= You are so old that you can get your driver's license.

このようになります。また、この書き換えは **that** 節を使うので、必要な場合は **it** を付け加えて下さい。

例文：

A fence was low enough for him to jump over.

= A fence was so low that he could jump over it.

(フェンスは低かった所以他は飛び越えられました。)

[so ~ as to ...]

「～ enough to …」の文は「so ~ as to …」の文に書き換えることもできます。上の例文を書き換えると、

例文：

You are old enough to get your driver's license.
= You are so old as to get your driver's license.
(あなたは運転免許をとるのに十分な歳です。)

このように、3つの表現が可能であることを覚えて下さい。では、上の書き換えで紹介した例文を再度まとめて、新しい例文も紹介しておきます。

例文：

「あなたは運転免許をとるのに十分な歳です。」

[~ enough to ...]

You are old enough to get your driver's license.

[so ~ that + 主語 + can + ...]

You are so old that you can get your driver's license.

[so ~ as to ...]

You are so old as to get your driver's license.

例文：

「彼女はとても親切なので私を駅まで案内してくれました。」

[~ enough to ...]

She was kind enough to show me to the station.

[so ~ that + 主語 + can + ...]

She was so kind that she could show me to the station.

[so ~ as to ...]

She was so kind as to show me to the station.